

泊発電所3号炉 審査取りまとめ資料への基準適合に係る設計と最新審査知見の反映について

本紙は、泊発電所3号炉（以降、「泊3号炉」という。）の審査取りまとめ資料（以降、「まとめ資料」という。）へ「基準適合に係る設計」と「最新審査知見」を反映するために選定する比較対象プラントと、その選定理由について整理を行った。

- 2017年3月に泊3号炉のまとめ資料を提出した時点では、新規制基準適合性審査はPWRプラントが中心であったが、現在はBWRプラントが中心となっており、それぞれの炉型の審査結果が積み上がっている状況
- 泊3号炉の地震・津波側審査が進捗した時点（2021年7月）においては、PWRプラントでは大飯3/4号炉が再稼働審査の最終実績であり、BWRプラントでは女川2号炉が至近での許可済プラントであった。
- 従って、泊3号炉の比較対象は、女川2号炉（BWR）と大飯3/4号炉（PWR）の2プラントを基本とする。
 - ✓ 比較する内容を「基準適合に係る設計」と「最新審査知見」の2つに分類し、比較する内容によって女川2号炉（BWR）と大飯3/4号炉（PWR）から適切なプラントを選定する。
 - ✓ 施設・設備や運用・手順といった技術的事項等に鑑みて、必要に応じて上記2プラント以外からも比較対象プラントを選定する。（各条文、審査項目、資料独自の事情を踏まえる。）
- 比較する目的は、下記の通り。
 - ✓ 基準適合に係る設計：必要な施設、設備や運用・手順といった技術的事項、基準適合の考え方等で構成される新規制基準に適合するための計画を参照するため
 - ✓ 最新審査知見：文言単位での比較によらず得られる、主に以下の事柄を参照するため
 - 基準適合上、考慮すべき事項（これまでの審査で議論されていない内容、充実が図られた内容）
 - 基準適合性を示すための説明の範囲、深さ
 - 設置（変更）許可申請書に記載する範囲、深さ
- 比較対象を選定する考え方は、以下の通り。
 - ✓ 基準適合に係る設計：至近の審査済みプラントの中から、各条文・審査項目の要求を踏まえ、要求を満たすための設備構成・仕様、環境、運用などの相似性があるプラントを選定する

